

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野インランドポート指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	産業政策課	佐野インランドポート指定管		款	7	新規or継続	継続事業
	係	産業政策係	理事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1131	名称	事業 期間	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		開始年度	H30	実施方法	指定管理者
	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり		終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	3	出流原PA周辺開発の推進					
	基本事業	1	出流原PA周辺総合物流開発整備の推進		規則			

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	指定管理者制度を活用して佐野インランドポートの安定した運営を行い、港湾物流の中心として機能させることによって、物流関連企業及び輸出入企業の誘致の促進並びに、地元産業の国際競争力の強化を図ることをもって交流拠点都市の実現と活力ある産業の振興及び地元経済の活性化を目指す。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	佐野インランドポートの取扱量を増加させることで、物流関連企業及び輸出入企業の誘致の促進並びに、地元産業の国際競争力の強化を図ることをもって交流拠点都市の実現と活力ある産業の振興及び地元経済の活性化を目指す。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		佐野インランドポート年間取扱貨物量	TEU	9,501	9,060	8,395	9,497	

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	指定管理者制度を活用して、佐野インランドポートの運営を実施した。 令和5年度の事業活動で利益が発生したため、基本協定に基づき施設納付金3,416千円を受け入れた。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		指定管理による施設	箇所	1	1	1		
		事業費計	千円	162	190	1,412		
		一般財源	千円	162	190	1,412		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	令和6年度の佐野インランドポート年間取扱貨物量は増加している。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		佐野インランドポート年間取扱貨物量	TEU	9060	8395	9497	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	令和6年度の佐野インランドポート年間取扱貨物量は増加している。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		佐野インランドポート年間取扱貨物量	TEU	9060	8395	9497	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果				
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	費用	費用は下がった				
			費用の増減無し				
費用 (R6とR5の 指標値増減)	費用が増加した 効果が上がった	費用が増加した	○				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

諸外国の物流の変化や2024年問題などの物流業界の変化が激しいため、佐野インランドポートによる物流の安定に向けて、引き続き施設拡張の検討、情報収集及びポートセールス等を行っていく必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野インランドポート活用促進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 款 項 目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	産業政策課	佐野インランドポート活用促進事業		7	新規or継続	継続事業	
	係	産業政策係			1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	1131	名称	根拠法令、条例等 佐野インランドポート条例、佐野インランドポート条例施行 規則	3	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		H30	実施方法	一部委託	
	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり		終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	3	出流原PA周辺開発の推進					
	基本事業	1	出流原PA周辺総合物流開発整備の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	民間事業者の佐野インランドポートの活用の促進を図ることにより、佐野インランドポートの安定した運営を行い、地元産業の国際的競争力の増加を図ることをもって、交流拠点都市の実現と活力ある産業の振興及び地元経済の活性化を目指す。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	荷主・物流事業者の佐野インランドポートの利用企業を増やすと共に、船会社のデボ・CRU契約を得る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		佐野IP利用荷主・物流事業者等の数	社	417	575	664	774	870
		施設納付金額	円				3,500,000	3,500,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	佐野インランドポートの活用促進のため、企業等に対して施設の周知を図るとともに、荷主企業や船会社、物流事業者などへポートセールスを実施。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		ポートセールス件数	件	68	77	73		
		佐野インランドポート年間取扱貨物量	TEU	9,060	8,395	9,497		
		事業費計	千円	1,019	1,035	1,022		
		一般財源	千円	1,019	1,035	1,022		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	佐野IP利用荷主・物流事業者等の数は順調に増加している。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		佐野IP利用荷主・物流事業者等の数	社	575	664	774	値が大きいほど良い	効果が上がった
		施設納付金額	円	3,253,000	6,969,000	3,416,000	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			↓選択して下さい		
	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
	効果は変わらない指標数		費用は下がった					
	効果が下がった指標数		費用の増減無し	○				
	指標全体		費用が増加した					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・佐野インランドポートの活用促進のため、港湾や物流業界全体の情報を収集し、地道にポートセールスによる施設の周知を図っていく必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	出流原PA周辺総合物流開発推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-①	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	事業計画	単年度繰り返し
	課	企業誘致課	-		款	新規or継続	継続事業
	係	産業団地整備係	-		項	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1131	名称	出流原PA周辺総合物流開発整備事業方針	目	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H30
	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり		期間	終了年度	実施方法
	施策	3	出流原PA周辺開発の推進				直営
	基本事業	1	出流原PA周辺総合物流開発整備の推進				その他市民に対する事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	出流原PA周辺総合物流開発整備事業方針に基づきインランドポート核とした総合物流拠点の創出に向けて出流原PA周辺総合物流開発整備構想エリアの整備を推進する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	高速交通の要衝としての立地を活用し、インランドポートを核とした総合物流拠点整備を推進することにより産業基盤整備や企業誘致につなげていく。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		立地件数（累計）	件	0	0	1	1	1

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	問合せのあった企業に対して、産業振興エリアの案内を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		問合せに対する対応件数	件	-	33	32	
		事業費計	千円	23	0	0	
		一般財源	千円	23			
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	対象区域への民間開発の推進	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		立地件数（累計）	件	0	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果が上がった指標数	0指標	※ 10万円以上の増減により判断	効果			↓選択して下さい	
効果（R6とR5の指標値増減）	効果は変わらない指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
	効果が下がった指標数	0指標						
	指標全体	効果は変わらない						

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

産業振興エリアへの民間開発の推進

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	<table border="1"> <tr> <td>取組説明</td></tr> <tr> <td>産業振興エリアのPR及び誘致活動</td></tr> </table>	取組説明	産業振興エリアのPR及び誘致活動
取組説明			
産業振興エリアのPR及び誘致活動			

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	出流原スマートインターチェンジフォローアップ事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	会計	事業計画	単年度繰り返し	
	課	交通政策課			新規or継続	継続事業	
	係	交通政策課			市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	1132	名称	根拠法令、条例等	目	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	出流原PA周辺総合物流開発整備事業方針	事業開始年度	R5	実施方法
	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	スマートインターチェンジ整備	期間	終了年度	- 事業分類
	施策	3	出流原PA周辺開発の推進	事業制度実施要綱			検査・調査事務
	基本事業	2	(仮称) 出流原PAスマートインターチェンジ整備の推進				

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	スマートインターチェンジ整備事業制度実施要綱第5.2に基づき地区協議会を設置し「出流原スマートインターチェンジ」の設置に向け、必要な検討・調整を行うとともに、当該スマートインターチェンジ供用後も継続して、その管理・運営形態等について、定期的に地区協議会においてフォローアップを行う。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スマートインターチェンジ供用後も継続して、その社会便益・安全性・利用交通量・管理・運営形態・利用促進方策等について、定期的にフォローアップし、必要に応じて見直すものとする。フォローアップは、供用後1年経過後速やかに1回開催し、以後必要に応じて実施するものとする。 (令和12年計画交通量：約2,000台/日)	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		計画交通量/台	台			1,300	1,400	1,500

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	・地区協議会開催に向けて、関係機関と日程調整及び協議資料の作成を進めた。 ・令和7年3月25日に関係機関等で構成する地区協議会を開催し、供用開始からの交通量の推移、整備効果を説明し今後の利用促進策についての検討を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		国道293号線、佐野田沼線交差点	台		19,184	-	
		国道293号線、山形・寺岡線交差点	台		14,997	-	
		桐生田沼線・山形寺岡線交差点	台		6,515	-	
		事業費計	千円	0	1,980	0	
		一般財源	千円		1,980	0	
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	計画交通量の目標値としている1,400台に至らなかった。 (入車・出車台数/日:1月～12月総数を日数で除した数)	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		入車台数/日	台		523	592	値が大きいほど良い 効果が上がった
		出車台数/日	台		636	700	値が大きいほど良い 効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
			○			
			費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

地区協議会において検討を行った利用促進策に基づいた取り組みを実施する。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	利用促進策に取り組み入出車台数の増加に努める。		

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）